

ミュシャ展

ALFONS MUCHA



虜になる美しさ。

2016 10.8 [土] - 12.4 [日]

休館日 10月11日(火) 17日(月) 24日(月) 31日(月)
11月14日(月) 21日(月) 28日(月)

開館時間 10:00~18:00 (入館は17:30まで)

観覧料: 一般1,200円(1,000円) 高校生・大学生: 900円(700円)

※中学生以下は無料 ※()は前売り、20人以上の団体料金
 ※上記観覧料でコレクション展も併せてご覧になれます
 ※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳提示者とその介護者は無料
 ※本展は「大分市美術館年間パスポート」がご利用になれます
 主要前売券販売所: 大分市美術館、大分合同新聞社本社受付・同プレスセンター、トキハ会館
 あけのアクロスタウン、トキハ別府店、ローソンチケット[Lコード: 81630]
 チケットぴあ[Pコード: 767-844] ※前売券販売期間10月7日まで

交通案内/JR大分駅からのアクセス
 バス=上野の森口(南口)バスのりばから
 中心市街地循環バス「大分きんばす」
 【大分市美術館方面】行……………約7分
 タクシー=上野の森口(南口)から……………約5分
 /車=大分自動車道/大分ICから……………約10分

主 催 大分市美術館、大分合同新聞社 特別協賛 **ヤクシングループ**
 ミュシャ展実行委員会
 協 賛 アンジェリック クリニック 浦田、大分銀行、国際ソロプチミスト大分・みどり・府内、三井住友銀行、吉伴株式会社
 後 援 チェコ共和国大使館、チェコセンター、大分・チェコ友好協会、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分
 OAB大分朝日放送、エフエム大分、OCT大分ケーブルテレコム、NOAS FM、ゆふいんラジオ局
 協 力 堺アルフォンス・ミュシャ館(堺市立文化館)、箱根ラリック美術館、OZAWAコレクション、KATOコレクション、OGATA
 コレクション、大分大学、大分県立芸術文化短期大学、大分県立芸術緑丘高等学校、大分県立鶴崎工業高等学校
 企画協力 文化企画 デザイン原案: 塩崎伊織(大分県立鶴崎工業高等学校)



【問合せ先】
 〒870-0835 大分市大字上野865番地
 TEL: 097-554-5800(代表) Fax: 097-554-5811
 ホームページアドレス
<http://www.city.oita.oita.jp/>
 総合案内「楽しむ」→大分市美術館へ





《桜草》1899年

アルフォンス・ミュシャ(ミュシャはフランス語表記、チェコ語はムハ。1860-1939)は、オーストリア帝国に属していたチェコに生まれ、幼い時より絵を描き続け、近隣の領主エゴン伯爵にその才能を認められ、1887年、伯爵の援助を受け、パリに美術留学しました。しかし、1889年、突如、援助を打ち切られたために、挿絵などを描いて生計を立てざるを得なくなりました。

1894年の暮れ、大女優サラ・ベルナルが主演する正月公演のポスターの依頼を受け、短期間でポスター《ジスモンダ》を制作、このポスターは圧倒的な人気を博し、ミュシャは無名の挿絵画家から一躍、デザイン界のスターとなりました。

その後、サラの芝居のポスターをはじめ、菓子、香水、自転車、旅行などの広告ポスターや装飾パネル、さらに豪華本の挿絵などを次々に制作、1900年にはパリ万国博覧会でも注目を集め、アール・ヌーヴォーの旗手としての地位を不動のものとししました。

1910年、パリでの栄光を捨て故郷チェコに帰り、スラヴ民族・文化に関わる作品に取り組み、そして、1918年独立を果たしたチェコスロバキアの国家行事のポスター、紙幣、切手などのデザインを次々に手がけました。

本展では、代表作《ジスモンダ》をはじめ、ポスターから、装飾パネル、本の挿絵、雑誌の表紙、ポストカード、切手、紙幣に至るまでミュシャの制作活動の全容を紹介します。



《羽根》1899年

関連の展覧会 《観覧無料》

- (1) 高校生によるミュシャポスターデザイン展
会期:10月5日(水)~10月20日(木) 10時~18時
- (2) ideal Picture2016 [0と1と]
会期:11月10日(木)~11月27日(日) 10時~18時
※最終日(11/27)は16時まで
(1)(2)ともに場所:美術館研修室

講演会 《聴講無料》

- (1) 日時:平成28年11月6日(日) 13時30分~15時
講師:菅 章(大分市美術館館長)
演題:ミュシャとその時代
- (2) 日時:平成28年11月12日(土) 13時30分~15時
講師:於保政昭氏
(大分県立芸術文化短期大学デザイン専攻講師)
演題:[0と1と]ミュシャ
※(1)(2)ともに場所:美術館ハイビジョンホール

コレクター尾形寿行のギャラリートーク 《観覧券必要》

- 日時:平成28年10月8日(土) 10時~、13時~、15時~
10月9日(日) 10時30分~、13時~、15時~
場所:企画展示室 ※解説時間:1時間程度

原きよ 美術館朗読ライブ企画

「ミュシャ展に寄せて」 《聴講無料》

- 日時:平成28年10月23日(日) 15時~16時
場所:美術館ハイビジョンホール
出演:原きよ氏(朗読家)
内容:ミュシャが挿絵を描いた絵本「白い象の伝説」の紹介と朗読。
定員:80人(先着順)

音楽会 《聴講無料》

- 日時:平成28年11月20日(日) 14時~15時
場所:美術館ハイビジョンホール
演奏:河井美恵氏(ソプラノ)、小町美佳氏(ピアノ)
内容:「フランス歌曲の音楽会」ドビュッシーほか。
定員:80人(先着順)

「ミュシャ風」イラスト募集

- ミュシャを連想させるイラストを募集します。
- 応募方法:官製ハガキもしくは同じ大きさ(10×14.8cm)の厚紙を用いて、表面に住所、氏名、電話番号を記入し、裏面にイラストを描いて応募してください。
- 応募期間:平成28年10月1日(土)~11月10日(木)消印有効
- 応募先:大分市美術館ミュシャ展イラスト募集係
- 展示期間:平成28年10月8日(土)~12月4日(日)
- 展示場所:大分市美術館館内
- 賞:優秀者10名にOちゃんマグカップ(1個)、ミュシャ展招待券(2枚)を差し上げます。
- 作品返却:平成28年12月5日(月)~12月27日(火)
※休館日を除く ※返却場所:美術館エントランスホール受付
※返却期間終了後の返却には応じません。

<展示解説> 《観覧券必要》

- 日時:会期中毎週水曜日14時~(30分程度)
- 場所:美術館企画展示室 担当:美術館職員

<ワークショップ>

(1) 自分のミュシャをつくらう 大人のぬり絵講座

- 日時:平成28年10月9日(日)、16日(日)
各13時30分~15時30分
講師:塔鼻映子氏(カラーデザイナー)
場所:チャイルドハウス
対象:高校生以上
定員:各12人 ※多数時は抽せん
内容:ミュシャ作品のぬり絵、仕上がったぬり絵を自宅で飾れるようにアクリル額に入れて完成。
材料費:1,200円(アクリル額代)
《事前申し込み必要》

(2) 髪飾りを作ってなりきりミュシャ!

- 日時:平成28年11月13日(日) 13時30分~16時
場所:チャイルドハウス、企画展示室
講師:廣瀬剛氏(大分大学教育学部教授)
対象:小学生~高校生
ただし、小学2年生以下は保護者同伴
定員:10人 ※多数時は抽せん
内容:紙や金属を使ってミュシャ風の髪飾りを作ります。
材料費:700円
※同伴の保護者は観覧券必要
《事前申し込み必要》

(3) デモンストレーション[体験・複製技術]

- 日時:平成28年11月13日(日) 16時30分~18時
場所:美術館研修室
講師:於保政昭氏(大分県立芸術文化短期大学デザイン専攻講師) 野村菜美氏(大分県立芸術文化短期大学非常勤講師) 大分県立芸術文化短期大学メディアデザインコース於保研究室
《参加無料》《当日参加可》

(4) ミュシャ[もじゃ]スタンプ

- 日時:平成28年11月27日(日) 13時~15時30分
場所:美術館研修室
講師:於保政昭氏(大分県立芸術文化短期大学デザイン専攻講師) 野村菜美氏(大分県立芸術文化短期大学非常勤講師) 大分県立芸術文化短期大学メディアデザインコース於保研究室
対象:小学3年以上
定員:20人 ※多数時は抽せん
内容:ゴム版を使いミュシャ作品の原寸大の作品を作ります。
《参加無料》《事前申し込み必要》

ワークショップの事前申し込み方法

- 締切:(1)9月25日、(2)11月1日、(4)11月11日 ※全て消印有効
往復はがきに、下記の内容を記入し、大分市美術館ミュシャ展係までお申し込みください。

- 【往信】①ワークショップ名 ②参加者全員の氏名
※(2)「髪飾りを作ってなりきりミュシャ!」、(4)「ミュシャ[もじゃ]スタンプ」は参加者の年齢を必ず記入
③参加者の代表者・保護者の住所・電話番号
【復信】代表者・保護者の氏名・郵便番号・住所 「ホイットマン社のチョコレート缶容器」1900年



《黄道十二宮》1896年



「ポストカード」1900年 部分



《パリの審判》1894年



「ホイットマン社のチョコレート缶容器」1900年